

バンザイブースは
B-30
です。



BANZAI NEWS

2026
Spring
338

特集
BANZAI NEWS

温暖化による過酷な環境下でも
生き残れるサービスショップへ

皆様のご来場を心よりお待ちしております！

大型車整備の
効率化を加速させる
最新機器
“体験・体感”で
ワクワクの
バンザイブース！



バンザイでは、コンプライアンスの厳守、従業員満足度の向上に関わり、安全で安心な運転や走行のための整備ソリューションをご提案します。

BANZAI 株式会社 バンザイ

<https://www.banzai.co.jp>

本社
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6880
E-mail: eigy@banzai.co.jp

営業部
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6881

海外販売部
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6894

札幌支店
札幌市西区24軒1条7-3-10
TEL 011-621-4171

仙台支店
仙台市宮城野区福室2-8-21
TEL 022-258-0221

関東支店
埼玉県北本市朝日4-553
TEL 048-590-3700

東京支店
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6840

名古屋支店
名古屋市中区青柳町6-26
TEL 052-732-2600

大阪支店
大阪市長田東3-3-11
TEL 06-6744-1041

広島支店
広島市西区南観音2-7-10
TEL 082-233-3201

福岡支店
福岡市博多区那珂5-3-15
TEL 092-411-1261



ISO9001認証取得
ISO14001認証取得
バンザイはSDGsを推進する
日本ユネスコ協会連盟の維持
会員として支援しています。

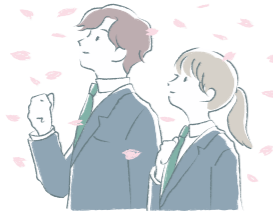




西向日・桜の径 桜並木の街並み ————— 京都府
京都府向日市にある西向日(にしむこう)「桜の径」は、住宅街を彩る桜並木が続く静かな散策路。満開の季節には枝がアーチ状に重なり、淡い桜色のトンネルが生まれ、訪れる人をやさしく包み込むような風景が広がる。

★歳時記

- 4月 6日 春の全国交通安全運動
- 18日 発明の日
- 29日 昭和の日
- 5月 3日 憲法記念日
- 4日 みどりの日
- 5日 こどもの日
- 6月 5日 環境の日
- 10日 時の記念日
- 21日 夏至



●目次

★特集

- あらゆる「変化」をチャンスにつなげられる持続可能なサービスショップとなるには?.....①
- 【第1回】温暖化による過酷な環境下でも生き残れるサービスショップへ

★モデルショップ訪問

- 【釧路トヨタ自動車株式会社 LOOP OTOFUKE】.....⑥
- 3店舗のカーライフサービスで人とクルマと思いをLOOPする複合型カーライフスポットをオープン

★TOPICS<海外情報>.....⑩

★ショールーム.....⑫

★ロータリー.....⑯

★BANZAIガイド.....⑰

特集

BANZAI NEWS

あらゆる「変化」をチャンスにつなげられる持続可能なサービスショップとなるには?

第1回

温暖化による過酷な環境下でも生き残れるサービスショップへ

自動車業界が「百年に一度の大変革期」に突入したと言われて久しいですが、その変化は「自動化」「電動化」「高度化」「温暖化」を中心として、近年ますます大きく複雑になっています。

2026年度の新連載「あらゆる『変化』をチャンスにつなげられる持続可能なサービスショップとなるには?」、1回目の今回は、いま自動車業界に起きている四つの大きな変化を振り返りつつ、「温暖化」により生活環境も過酷さを増している中でいかに生き残りチャンスにつなげるかを考えたいと思います。

「自動化」と「電動化」は 停滞基調も進化・普及は継続。 急進の可能性もあり備えは必須

「自動化」と「電動化」は、2016年に当時のダイムラーが中長期戦略の柱として掲げた「CASE」の四要素、「Connected」(コネクテッド)、「Autonomous」(自動運転)、「Shared」(シェアリング)、「Electric」(電動化)の中でも特に重要度の高いものとして、自動車業界全体が過去10年間にわたり技術革新に取り組んできました。

その結果を日本国内だけで見ても、ADAS(先進運転支援システム)は衝突被害軽減ブレーキの新車装着が2021年より義務化され、HEV(ハイブリッド車)の新車販売台数はICV(純内燃機関車)を上回るようになっていきます。

しかしながら、それぞれ究極のゴールに位置付けられている、AD(自動運転車)やZEV(走行時ゼロエミッション車)への100%移行は、以前の計画よりもむしろ遠ざかりつつあります。

というのも、そうした将来を見越しての市場競争は中国を震源地として激化する一方、補助金や減税措置、規制強化といった官製需要喚起策は主要各国が相次いで方針転換。市場規模は十分に拡大せず、製造コストはなかなか下がらず…という負のスパイラルが続き、しかも市場が黎明期のうちにレッドオーシャン化したことで、多くのメーカーがADやZEVの関連製品を投入延期・凍結せざるを得なくなったからです。

とはいえ、ADやZEVへの100%移行が「絵に描いた餅」になったとしても、両者の進化・普及が徐々に進むことは間違いありません。

また、自動車産業と親和性の高い他業種に目を向けると、ADやZEVの技術は工場やリゾート施設で用いる産業用ロボットなどでむしろ進化・普及が進んでおり、そちらで技術革新による大幅な性能向上、コストダウンが起これば、それが自動車産業にも波及する可能性があります。

ですので、サービスショップの皆さんは、入庫車両の傾向に応じ、適切な時期・規模で備えておく必要があるといえるでしょう。



2016年9月のパリモーターショーでダイムラーが発表した「CASE」。今これらの先進技術の発展は踊り場に入りつつある

世界の政情不安定化は 自動車の「高度化」や 「温暖化」にも影を落とすか？

こうして「自動化」と「電動化」が停滞基調となったことで、従来のICVが復権を果たしたとしても、生活環境を過酷なものとし、様々な自然災害の原因にもなる地球環境の「温暖化」は収まるどころかむしろ早まると見るべきでしょう。例えばアメリカの第二次ドナルド・トランプ政権が2026年2月に実行した温室効果ガスの危険性認定撤回が科学的に正しい判断だったとしても、現実問題として地球全体で「温暖化」は日に日に進行しており、酷暑極寒や自然災害の発生頻度も年々高まっているからです。

しかもそのトランプ政権とイスラエルが同月末に引き起こしたイラン戦争により、中東諸国からの石油供給が突如不安定化。その解消が今後も見通せないようであれば、中東への依存度が高い日本を含むアジア各国を中心として、クルマが走るためのガソリンや軽油はもちろん、石油を原材料とするオイルや樹脂部品などの供給もおぼつかなくなる危険性さえあります。

となれば、世界各国でZEV普及策が今後さらに後退したとしても、パワートレインの種類を問わず、燃料の消費量がより少ないのはもちろん、電力の消費量もより少ないクルマへのニーズが一段と強まることでしょう。

では、燃費や電費を低減するには、どうすればよいでしょうか？ 様々な方策がありますが、最も有効と考えられるのが、ボ

ディの軽量化です。

ボディが軽ければ、従来と同じ性能を確保する場合にエンジンの排気量やモーターのサイズを小さくできるので、電費・燃費はもちろんパワートレイン全体の重量も減ります。また、タイヤ・ホイールやブレーキなど足回りのサイズを落とせば、車重はもちろん走行抵抗も低減できます。つまり、ボディの軽量化を起点として、正のスパイラルが働くのです。

しかし、いたずらにボディの軽さのみを追求すれば、剛性が落ちてNVH(騒音・振動・突き上げ)は増え走行性能も低下し、強度とともに衝突安全性能も下がります。そこで採られる手段の一つが、軽さと剛性・強度を両立できる素材への材料置換です。

自動車のボディにおいては、超高張力鋼板やアルミニウム合金、FRP(ガラス繊維強化樹脂)やCFRP(炭素繊維強化樹脂)といった樹脂などが代表的ですが、これらの素材は加工が難しく製造コストが高い傾向にあります。従って、量産性と価格の安さが強く求められる軽自動車やコンパクトカーで特に、全面的な採用は難しいのが現実です。

そのため、走行性能や衝突安全性能の肝となる各ピラーおよびドア開口部、サスペンション取付部周辺などの骨格、あるいはボディ剛性・強度への寄与度が低い軽さを追求しやすいドア、ルーフ、フード、フロントフェンダーなどの外板にこれら軽量化素材を使用。それ以外の部位には安価で加工しやすい



CFRPとアルミニウム合金、超高張力鋼板を組み合わせることで5代目比最大130kgの軽量化を実現した、先代6代目BMW7シリーズ(左)の複合構造ボディ「カーボンコア」(右)

通常鋼板などを用い、両者を組み合わせることになります。

ですが異なる素材を、クルマに求められる高い剛性・強度はもちろん耐久性をも確保できるレベルで接合するには、特殊な工法が求められます。

裏を返せば、これらの軽量素材や特殊な接合方法を用いたクルマが事故を起こした際に修理するには、剛性・強度を落とさないよう、接合条件などをより厳格に守りながら、正しい方法で作業しなければなりません。これを可能とするには、それぞれの作業方法に対応した修理設備・ツール・材料を導入するのはもちろん、それらを使いこなせるよう修理技術者を育成する必要があります。

いま目の前に差し迫った危機 「温暖化」からメカニックの 健康と会社の経営を守るには？

ここまで四つの大きな「変化」の近況についてご紹介してきましたが、その中でも最も差し迫った脅威となっているのが「温暖化」です。

文部科学省と気象庁が取りまとめ2025年3月に公表した「日本の気候変動2025」によれば、代表的な温室効果ガスであるCO₂、メタン、一酸化二窒素の大気中濃度は少なくとも過去80万年間で前例のない水準まで増加しており、年平均気温は



3店舗のカーライフサービスで人とクルマと想いを LOOPする複合型カーライフスポットをオープン



「LOOP OTOFUKE」の外観。

北海道十勝平野のほぼ中央に位置し、豊かな自然環境に加え、帯広市に近い立地と利便性の高い交通網により、音更町は人口増とそれに伴い企業の集積が進んでいます。その音更町に道内最大級となるカーライフサービスの複合店舗が誕生しました。それが釧路トヨタ自動車が開発する「LOOP OTOFUKE」です。

トヨタの新車拠点にカー用品店のジェームス、そして道東エリア初のオープンとなる GR ガレージをシームレスに連携、従来の自動車ディーラーのイメージを覆す新たな店舗は、ディーラーの新しい形として、全国から注目を集めています。



釧路トヨタ音更店。スタッフはパーカーを着用。



GR ガレージ音更のエンタランス。



エリアマネージャー
荒木 敏弘 氏



サービス 課長
佐々木 渉 氏



ジェームス音更店の店内の様子。



国道 241 号側からの店舗外観。

複合型店舗で巡り繋げる循環の輪 道内最大級の複合型カーライフスポット

釧路トヨタ自動車株式会社は釧路エリアを中心に、帯広、根室、中標津など、道東をカバーするトヨタディーラーです。地域社会に根差した取り組みやイベントの開催、あらゆる SNS を駆使した情報発信など、カーライフの楽しさを伝える先進的な営業スタイルを採り入れながら、地域ユーザーとともに歩んできました。その同社が、従来の自動車販売店のイメー

ジを覆す、新たな取り組みとして3つの異なるカーサービスを提供する複合型店舗「LOOP OTOFUKE」を2025年4月12日にオープンさせました。

敷地面積 9,288㎡に建物の延べ床面積 2,988㎡。元々、ジェームス音更店の単独店舗だった土地に、釧路トヨタ音更店のリニューアル、後述する GR ガレージの出店、そしてジェームス音更店を同一フロアとするモール型店舗を具現化。日常的な自動車ユーザーからコアなクルマ好きユーザーの幅広い層をカバーするとともに、地域の人が気軽に集まることができ



釧路トヨタ音更店のショールーム。奥はジェームス音更店。



納車セレモニーなどを行うプレゼンルームを設備。



木の温もりで演出する商談ルーム。



GR ガレージの店舗内。アクセサリなども豊富に展示。



ドライビングシミュレーターを2台設備。



「VITA-01」の車両を展示。ガラス越しからサービスマン工場を見ることが可能。

る、全く新しいコンセプトの店舗に生まれ変わりました。道内でも類を見ない、まさに質量とも道内最大規模の複合型カーライフスポットとなりました。

店舗名の「LOOP」とは、ユーザーやユーザー自身が大切にモノ、コト、トキを絶えず、巡り、繋げ、心地よい「輪」＝「ループ」として循環させる店舗にしたいとの思いが込められています。

3店舗がシームレスに共存する店舗 イベントやGRガレージでワクワクする店舗に

店舗コンセプトの「LOOP」は店舗デザインにも反映され、3店舗はまさにシームレスに行き来することが可能です。クルマの購入から用品、そしてカスタムまで循環するカーライフが楽しめる設計が施されています。また、オープン以来、同店では「恐竜ワールド 2025」やミニ四駆大会といった子どもたちに人気のコンテンツをはじめ、トヨタのワンメイクレース、ヤリスカップ参戦車両の展示、レクサス LFA のエンジンサウンドパフォーマンスショーなど、各種イベントを実施してきました。同店を統括する荒木敏弘エリアマネージャーは「クルマに関

するイベントはもちろん、クルマ以外の異業種とコラボレーションも実施し、クルマに触れるきっかけ作りをしたい」と語るなど、地域の人々が気軽に立ち寄れる店舗づくりが実践されています。そのヤリスカップに同社は2025年より初参戦。LOOPレーシングドライバーとして、長野オリンピックのスピードスケートで金メダルを獲得した、帯広市出身の清水宏保氏を抜擢しました。ヤリスカップは地元十勝スピードウェイが開催地ということもあり、音更町はモータースポーツ熱が高い地域柄、GR ガレージはそうしたファンの受け皿としての役割も担っています。

GR ガレージ音更の山口俊一 GR マネージャーはモータースポーツの経験が抱負で造詣も深く、的確なアドバイスと提案で、オープンから半年で多くのファンの心を掴んできました。地元ユーザーばかりでなく遠く離れた旭川からも来店があるとのこと。山口 GR マネージャーは「いろんな方が、一緒になってクルマを楽しむための場所にしていきたいです」と抱負を語ります。

「町いちばんの楽しいクルマ屋さん」を合言葉に、アクセサリの品揃えも他の GR ガレージにはない充実ぶり。また、ドライビングシミュレーターを2台設置するなど、走りに関するあらゆる要素を網羅しています。



サービス工場の外観。道内最大級のスケール感とともに、空調とシートシャッターを導入し、快適なサービス工場を実現。



サービス工場内観。通路の広さに象徴されるようにストール間も余裕のある設計が施され、安全性も向上。



トリプルテスターを採用した検査ライン。4WD車の多い北海道ではフリーローラーは必須。



釧路トヨタ音更店が使用する5ストール。



小・中型車用リフトのキャタピラツインII・ミニ。



GR用ストール。リフトはGRカラーに彩色。

3Dアライメントテスター「ジオライナー」、リフトはフラットワークステージを採用。

ジェームス音更店の作業場。ドライブオンリフトを含めて3ストール。



門型洗車機、エミネントレボリューション。雪国のため、もちろん下部洗も設置。

規模・設備とも道内最大級のサービス工場 ジェームスからGRまであらゆる整備を網羅

サービス工場も道内最大級のスケール感で最新機器を設備しました。作業場は検査ラインを含めて全13ストールに、平ストール1、門型洗車ストールで構成。リフトは幅広い車種への対応と安全性を両立するタンデムリフトを9ストール。このうちプレートとアームタイプの2ウェイトタイプを5ストールに設備しました。また、ドライブオンのワークステージを2基、ダイナとコースターの整備を想定したキャタピラツインIIミニを導入し、オールマイティーな作業に対応しています。

サービスの佐々木渉課長は「旧音更店と比べてストール数が多くなり、また新調されたリフトも使いやすく、効率が格段によくなりました。ストール間の幅や通路が広く安全性も向上しています」と語ります。

サービス工場では、基本的に3店舗がストールを棲み分け

て整備を実施します。エンジニアはトヨタ6名、GRガレージ2名、そしてジェームス4名の計12名。ジェームス音更店では昨夏より、ジェームスLOOP車検の展開を始めたことで、車検台数が増加しており、他店と検査ラインの使用が重ならないよう、システムで連携を図っています。

さらに、GRユーザーを中心に、こだわりの走りを究極的に診断・整備するため、ホイールアライメントテスター「ジオライナー」を導入。カスタマイズやパーツ交換などで生じるアライメントの診断・調整に加え、電子制御装置整備でも活用されています。

北海道でも猛暑日を記録する日が多くなりました。このため、LOOP OTOFUKEでは、サービス工場に空調とシートシャッターを同社として初めて導入しました。「エンジニアにとってエアコンの導入が一番嬉しいです。とにかく快適すぎます」と佐々木課長。エンジニアの働く環境を整えることで、好循環のループは品質の高いサービスに繋がっていきます。

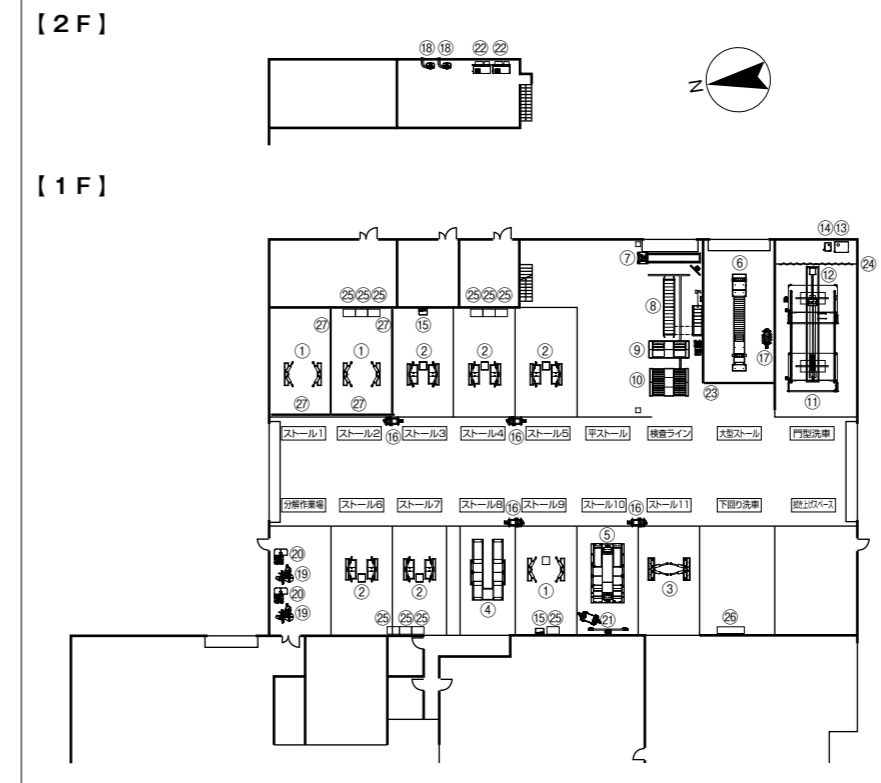
店舗概要

- 所在地：北海道東郡音更町木野大通東14-2-18
- 電話番号：0155-31-4181
- 店舗設立：2025年4月

サービス概要

- スタッフ数：30名（うちエンジニア12名）
- 店舗面積：2,988㎡（延床面積）
- サービス工場面積：1,336㎡（中2階含む）

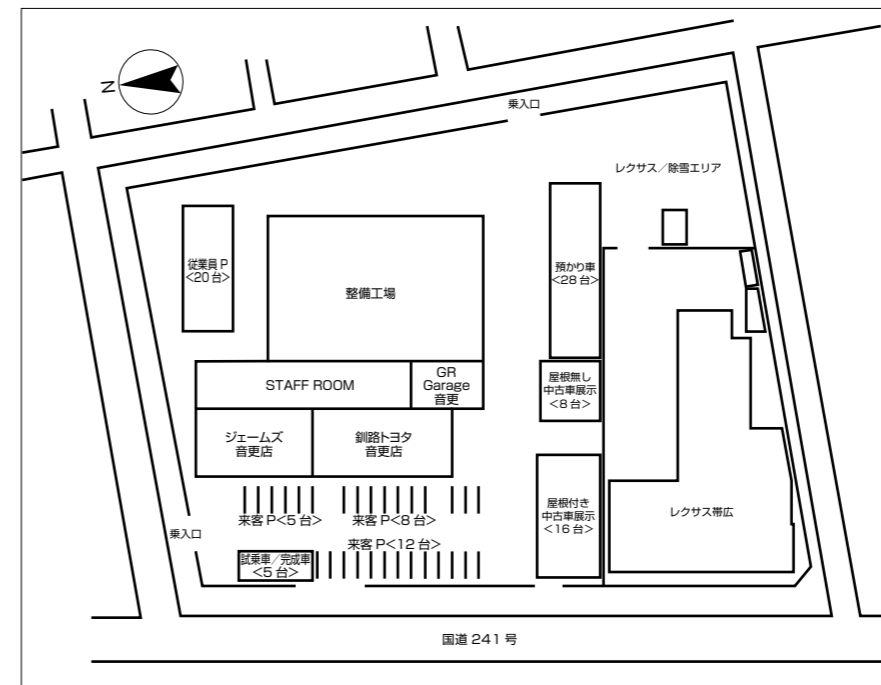
工場レイアウト詳細



設備一覧

- ① タンデムリフト アーム型 3t
- ② タンデムリフト プレートアーム型 3t
- ③ タンデムリフト アーム型 3t 収納BOX付
- ④ ワークステージ 3.2t
- ⑤ フラットワークステージ 3.2t
- ⑥ キャタピラツインII・ミニ 5.5t+5.5t
- ⑦ 画像手動式ヘッドライトテスター
- ⑧ 点検ピットカバー
- ⑨ トリプルテスター
- ⑩ フリーローラー
- ⑪ 門型洗車機
- ⑫ 下部洗浄機
- ⑬ 温水洗車機 5.5kw
- ⑭ 温水洗車機 2.2kw
- ⑮ 給廃油キャビネット
- ⑯ 排気ホースリール 乗用車用
- ⑰ 排気ホースリール 大型車用
- ⑱ 排気ファン
- ⑲ タイヤチェンジャー
- ⑳ ホイールバランサー
- ㉑ アライメントテスター
- ㉒ パッケージコンプレッサー 5.5kw
- ㉓ 電動巻上カーテン
- ㉔ 手引きカーテン
- ㉕ キャビネット
- ㉖ 移動式ツールキャビネット
- ㉗ 電動巻上カーテン

店舗全体図



海外情報 カンボジア・工業技術大学 (ITI) が「板金、塗装科」の新設セレモニーを開催

■ カンボジア・プノンペン



MOU (Memorandum of Understanding) を締結したホンダカーズ博多、武藤孝史朗社長 (中央左) とカンボジア王国・労働職業訓練省、ヘン・スオ大臣 (中央右)、そして ITI のチン・タラー学長 (右)

私たち「株式会社ホンダカーズ博多 (2007年4月1日設立)」は、国内の自動車整備士、特に板金塗装技術者の深刻な不足を受け、従来のリクルート活動に加えて、海外での積極的な人財育成と獲得を目指すべく、事業 (グローバル人財課) を開始しました。そこで焦点を当てた国のひとつがカンボジアです。



工業技術大学 (ITI) の校舎



ITI の「板金、塗装科」開校セレモニーでテープカットを行うホンダカーズ博多、武藤孝史朗社長

プノンペンの工業技術大学とのご縁で 板金、塗装の実習場を整備

これまで、カンボジアには板金、塗装を学べる学科を有した学校はありませんでした。そんな中、工業技術大学 (Industrial Technical Institute、通称 ITI、1928 年創立) との接点が生まれました。「特徴のある学科を設置したい」という他校との差別化を図りたい同校の展望と、独自の雇用モデルを構築したい当社のニーズが合致しました。これを好機と考え、2023年8月から大学訪問を開始、2024年12月にカンボジア労働職業訓練省と MOU (Memorandum of Understanding*) を締結しました。2025年には現地教員を当社へ招き、集中トレーニングを実施。並行して日本から板金塗装の実習に必要な設備などを輸出し、校内の一面に実習場を整備しました。なお、実習場には IRIS カーテンブース、スプレーキャビンや赤外線乾燥機などの塗装関連機器を始め、板金は溶接機 (スポット、半自動、スタッド) を納入しました。機器の選定には、生徒の皆さんが板金、塗装の基本を学んで頂くと同時に、日本に来てからの当社での就業に戸惑うことが無いようバランスを考慮して選定致しました。

*正式な契約 (最終契約) の締結前段階で、取引の概要、条件、独占交渉権などを定めた基本合意書



「板金、塗装科」の先生の説明に耳を傾けるヘン・スオ大臣



カンボジアにおける車体整備の技術者育成の歴史がスタート

1月に労働職業訓練大臣列席のセレモニーを開催 板金塗装技術者の育成がスタート

2026年1月15日ヘン・スオ労働職業訓練大臣ならびに多くの政府関係者ご列席の下、セレモニーが執り行われ、カンボジアの地で板金塗装技術者の育成がスタートしました。実習場入口でのヘン・スオ大臣と当社代表取締役社長・武藤孝史朗によるテープカットを皮切りに、大臣一行は実習風景を見学なさっていました。

ITIでは既に自動車整備の学科があり、2年生は約300名、1年生は約600名の生徒が在籍しておりますが、この度新設された「板金・塗装科」には2年生に募集をかけ、一期生として14名が選抜されました (2026年1月現在)。指導に当たる教員は日本で訓練を受けた方々です。この取り組みは、将来の日本での雇用や現地での起業・就職を支援する持続可能な人財育成の仕組みとなっております。この実習場の活用を通じて若い技術者が育成され、日本での就労機会を得ると共に、両国の自動車産業の次世代を担う技術者に成長することを心から願っています。



日本でも板金、塗装の研修を実施



カーテンブース内で塗装の実作業を視察するヘン・スオ大臣



塗装の基礎から実践まで、現場に即したカリキュラムで人財を育成



板金作業の授業風景。真剣な表情で作業を行う生徒たち

カンボジアってどんな国?

カンボジア王国は、東南アジアのインドシナ半島に位置する、豊かな歴史と仏教文化が息づく国です。世界遺産アンコール・ワットに象徴される壮大な寺院群や、穏やかな国民性が特徴で、近年著しい成長を遂げています。カンボジアの人口は約1,800万人 (2026年現在)。年齢の中央値は26.4歳と非常に若く、活力のある人口構成が特徴です。首都はプノンペンで人口の約27% (約486万人) が居住しているといわれています。ITIもそのプノンペンに本校を構え、多くの若者が工業分野の先進技術を学んでいます。

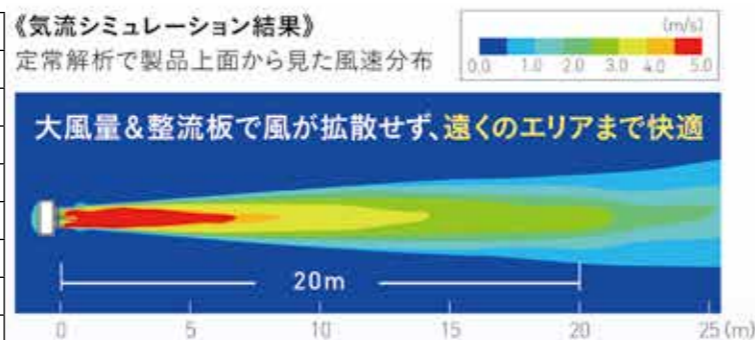


出典: Google マップ

【ダイキン 大風量エアコン マルチジェット】FSXYZA280A

20m先でも、 風速1m/sの大風量エアコン誕生

- 吹出温度制御で、より快適に!
吸込温度制御に比べ、設定温度に合わせて能力をコントロールし、冷やしすぎを防止
- 薄型仕様で整備工場の天井や壁面にも設置可能
(天井、壁掛設置も可能)



仕 様

| | |
|----------------------|--------------|
| 機 種 名 | FSXYZA280A |
| 電 源 (V、Hz) | 単相 200 50/60 |
| 冷 媒 種 | R32 |
| 冷 房 能 力※1 (kW) | 28 |
| 暖 房 能 力※2 (kW) | 31.5 |
| 外形寸法 | |
| 高 さ (mm) | 710 |
| 幅 (本体 + 電装 BOX) (mm) | 1700+100 |
| 奥行 (本体 + 吹出部) (mm) | 400+160 |
| エアフィルター仕様 | 防カビ樹脂ネット |

※1.JISB 8616 条件 (室温 27°C DB・19°C DB、外気温度 35°C DB)
※2.JISB 8616 条件 (室温 20°C DB、外気温度 7°C DB・6°C WB)

【全窓撥水コーティング クリスタビューEDGE】BCV-14G8M-12

従来品(クリスタビューシステム)の基本性能を継承しながら、 耐久性・安全性・作業性を現代の基準へ進化!

- 高密度の撥水成分がガラス表面と素早く反応し、長期間にわたり安定した撥水効果を維持
- 鳥のフンや虫汚れなどが付着しにくく、洗車時の作業時間短縮、効率化に
- 冬場の霜や雪が付着しにくく、出発時間の短縮や、視界確保が確実に安全性が向上
- ウロコ状の汚れの発生を抑制し、ガラスの美観維持とメンテナンスの手間を軽減
- 作業者の安全性や作業環境に配慮したエタノールベースの処方に改良、施工現場でも安心してご使用可能



クリスタビュー EDGE ロングライフタイプ 12 本入

【スキャンツール】KTS560 / KTS590

最高水準の効率を実現する最先端のコントロールユニット診断機器

- イーサネットを含む近年～将来の車両インターフェースに対応
- ボッシュ診断ソフトウェアESI[tronic] 2.0がインストール
ライセンス認証済みのあらゆるWinPCで使用可能
- Bluetooth®インターフェースで安定したワイヤレスオペレーションが可能
- 日常業務での長期使用に適した堅牢な構造



仕 様

| 型 式 | KTS 560 | KTS 590 |
|---------------------------|---|-----------------------------|
| | 1チャンネルマルチメーター | 2チャンネルマルチメーター&2チャンネルオシロスコープ |
| 動作電圧 (V) | DC 8 - DC 28 | |
| 消費電力 (W) | 10 | |
| P C 接 続 | USB 2.0、Bluetooth®クラス 1 | |
| 重 量 (kg) | 約 0.5 | |
| 防 塵 ・ 防 水 | IP53 | |
| マルチメーター帯域幅 (kHz) | 100 | |
| オシロスコープ (MS/秒) サンプルレート | - | 20 |
| 車 両 プ ロ ト コ ル | ISO 15031、ISO 22900、SAE J2534-1/-2(PassThru)、ISO 9141-2(K&L)、SAE J1850 VPWおよび PWM、CAN高速 ISO 11898、ISO 15765-4(OBD)、CAN単線、CAN低速、ISO 13400(IPを介した診断)、およびその他の車両固有プロトコル | |
| 寸 法 (mm) (幅×高さ×奥行) | 125×44×180 | |
| 動作温度 (°C) | 5 - 40 | |

【ジャンプスターター】SBX461 / SBX464

MAX2500Aの瞬発始動!! (SBX464)

- プレブースト機能搭載で過放電バッテリーでも安心・安全
- プレヒート機能で氷点下20°Cから対応
- 極性反転・短絡・過熱・過充電・過電圧・火花防止
- IP64で粉塵・水飛沫OK
- LEDワークライト付き
- スマホなどの外部機器に充電可能



SBX464

仕 様

| 型 式 | SBX461 | SBX464 |
|-------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------|
| パ ワ ー ソ ース | リチウムポリマーバッテリー 29.6WH | リチウムポリマーバッテリー 49.58WH |
| 入 力 電 圧 / 電 流 (V、A) | USB-C入力 直流 5、2 / シガーソケット(車両) 直流 12、10 | |
| 出 力 電 流 (A) | ピーク電流値 1,000 / 始動電流値 500 | ピーク電流値 2,500 / 始動電流値 1,250 |
| 対 応 バ ッ テ リ ー | 12V鉛バッテリー | |
| 始 動 開 始 E g 目 安 | ガソリン 6.0Lクラス ディーゼル 3.0Lクラス | ガソリン 10.0Lクラス ディーゼル 7.0Lクラス |
| 保 護 機 能 | 極性反転、短絡、過熱、過充電、過電圧、火花 | |
| 使用可能温度範囲 (°C) | -20 ~ 43 | |
| 本 体 サ イ ズ (mm) (D × L × W) | 48 × 210 × 103 | 60 × 235 × 105 |
| 重 量 (kg) | 1.1 | 1.25 |
| ケ ー ブ ル 長 (mm) | 620 | |
| 保 護 等 級 | IP64 | |

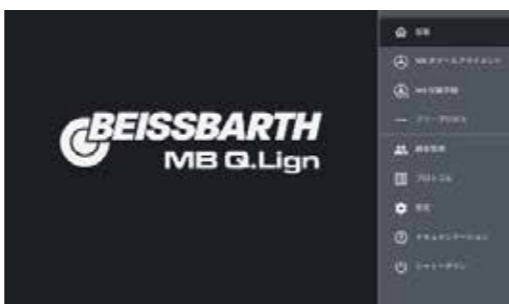
【3Dアライメントテスター】Q.Lign MBモデル MBQ.LIGN

3DアライメントテスターQ.Lignのメルセデスベンツ指定機MBQ.LIGNが登場!

- 標準機と同様に小型コンピューターとタブレットの採用により、モニターが不要(キャビネット等はオプション)
- エレクトロニックターンテーブルやカメラ用ウォールブラケットが標準付属
- 付属のRS232コンバータを使用し、ロメスインクリノメーターの測定値を受信可能

構成

- カメラ:2個 ●マグネットクランプ:4個 ●測定ボード:4個 ●バッテリー:2個
- バッテリーチャージャー:1個 ●コンパクトPCセット:1セット
- ブレーキディプレッサー:1個 ●ステアリングホルダー:1個
- アライメントカーデータ ●タブレット:1個 ●Wi-Fiアダプター:3個
- プリンター:1個 ●電源タップ:1個 ●リフトアダプター:2個
- リフトアタッチメント:2個 ●エレクトロニックターンテーブル:2個
- エレクトロニックターンテーブル用2.4mケーブル:2本
- ゴム製フィルタープレート:4個 ●RS232コンバータ:1個
- カメラ用ウォールブラケット:1組 ●LANルーター:1個
- 反射防止カバー:1枚



仕様

| | |
|---------------|---|
| 対象車種 | メルセデスベンツグループ車 / 軽四輪～普通自動車 |
| センサー寸法 (mm/個) | W375 × D315 × H135 |
| センサー重量 (kg/個) | 約 5.8 |
| センサー電源 | 充電式バッテリー |
| 通信方法 | 無線 (Wi-Fi) |
| その他電源 (V) | AC100 (コンパクト PC、充電機、タブレット) |
| 測定可能 W/B (mm) | 1,900 ~ 4,300 |
| 測定項目 | トー (トータル・個別)、キャンバー、キャスター、キングピン、T.O.O.T、スラストアングル、最大切れ角 |

【リフティングテーブル】KTO100

テーブル上面に104個の取付穴と傾斜可能なテーブルは、エンジン、ミッション、EVバッテリーなどのリフティングが可能!

- コンパクトなデザインで車両の下に十分なスペースを確保
- テーブルの傾斜やスライド機構を併せ持ちEVバッテリーの取外し/取付に有効
- 揚程1,300mm
- 能力1.0トン



仕様

| | | |
|------------|-----------------|---------------------|
| 型式 | KTO100 | |
| 能力 (kg) | 1,000 | |
| 作動 | 足踏み式油圧ポンプ | |
| ストローク (mm) | 1,300 | |
| テーブル | 最大高さ (mm) | 1,800 |
| | 最低高さ (mm) | 500 |
| | 長さ(スライド) (mm) | 1,300 ~ 1,400 (100) |
| | 幅 (mm) | 765 |
| 傾斜角度 (°) | x/y 方向に約 3.5 | |
| 本体寸法 (mm) | W1,055 × D2,065 | |
| 重量 (kg) | 360 | |

【ロングストロークホイールドリー】WD-400LSA

エア・手動ポンプ共用のロングストロークホイールドリーが登場!

- 大型車のタイヤ脱着作業を省力化
- ロングストローク化でしゃがむ必要がなくなり作業姿勢が改善
- フラットキット付ドライブオンリフトでも使用可能
- エア操作で上昇時の作業負担が低減、足踏みペダルを使用し微調整が可能



仕様

| | |
|-------------|--|
| 型式 | WD-400LSA |
| 最大荷重 (kg) | 400 |
| 適応タイヤ径 (mm) | φ 680 ~ φ 1,100 |
| 揚程 (mm) | 850 |
| 本体寸法 (mm) | W980 × D1,100 × H1,492 |
| 重量 (kg) | 約 100 |
| 操作 | エア又は足踏みペダル |
| オプション | ・タイヤパレット「WD-OP-TP」 ・ドラムアタッチメント「WSL-WD-DA」 |

【トルク管理システムツール】シャットオフインパクトレンチ MBI-160TX/MBI-250TX

従来機よりもさらに強く、使いやすくなって新登場! マイコン制御による自動シャットオフ機能搭載!

- 独自開発の「自動シャットオフ機能」を採用
- 必要トルクに合わせ最適な4段階の設定モードが選択でき、ボルト・ナットの締め過ぎを防止することが可能

仕様

| | | |
|----------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 型式 | MBI-160TX | MBI-250TX |
| 能力 (ボルト径) | 普通ボルト: M10 ~ 18 高力ボルト: M10 ~ 14 | 普通ボルト: M12 ~ 36 高力ボルト: M10 ~ 27 |
| 差込角 in (mm) | 1/2 (12.7) | 3/4 (19) |
| 最大トルク (Nm) | 550 | 2,100 |
| シャットオフトルク (Nm) | 50/70/90/120 | 200/250/300/400 |
| 質量 (kg) | 2.0 | 3.9 |
| 全長 × 全高 (mm) | 144 × 251 | 221 × 290 |



MBI-160TX
【12.7mm角】

MBI-250TX
【19mm角】

【ミズノ・安全靴】オールマイティ LSIII 11L / 22L / 53L BOA

あらゆる現場に「軽量×クッション」スリムなシルエットにアップデートした、軽量性とクッション性に優れたプロテクティブスニーカー

- JSAA型式認定合格品
- つま先を高くし、つまずきに配慮したトゥアップ設計
- 油による劣化がしにくいラバーソール
- 踵部の衝撃エネルギー吸収性、耐滑性
- 硬質樹脂先芯入り



LS III 11L

LS III 53L BOA

※JIS規格認定の安全靴とは異なります。

MSC 感動夢工場 第9回研究会@鹿児島県鹿屋市 (久永ボデー)

車体整備からトータルケアへ
サステナブル経営戦略の
アップデートを学ぶ



久永ボデーの一般整備の作業場とオフィス。



広大な敷地を有する钣金・塗装事業場。



代表取締役 久永 賢一氏



車検整備の作業場は全6ストールに対応。



エンジニアはBP15名、整備5名という布陣。全スタッフ数は30名。

約半世紀にわたって自動車整備の研究を開催し、サステナブルな経営環境を目指すMSC 感動夢工場(小川慶一会長)は、バンザイが支援する任意団体です。今般、同会では2月25(水)と26日(木)の2日間、鹿児島県鹿屋市にて第9回研究会を開催しました。今回はMSC 経営戦略会議と感動夢工場が合併した2022年に、会員として加盟された有限会社久永ボデーを見学するとともに、深刻化する人手不足の課題に対し、会員各社が取り組まれている対策についてディスカッションを行い、情報の共有を図りました。

モデルショップ見学 **車体整備からトータルケアへ
進化を続ける久永ボデー**

久永ボデーは鹿児島県大隅半島の中央に位置する鹿児島県鹿屋市に拠点を構えています。かつて鹿屋市には国鉄大隅線が通っていましたが、1987年3月に廃線となり、今は完全なクルマ社会の地域となりました。

同社は現社長の久永 賢一氏の父親(現会長)が車体整備として創業、法人化は1985年のことです。クルマ社会の進展に合わせ、同社は業容を拡張、車検をはじめとする一般整備や車販をスタートさせました。今では年間1,700台もの車検を入庫、車体整備は安定して月間150台をこなしています。

近年は建機の企業からの引き合いで全塗装の仕事が増え、新たに整備棟を増築するなど、ますますサービス領域を拡大しています。「クルマに関するお客様の様々な困りごとに対応しています」という久永社長の言葉が、同社の急成長を表しているといえるでしょう。

ディスカッション **「人手不足への対応策」**



ディスカッションの様子。ファシリテーターはフリーランス記者の泉山 大氏。

研究会第二部は深刻化する整備業界の人手不足対策について、会員間を対象に行ったアンケートを基に、ディスカッションを実施しました。事前アンケートでは、回答数の3/4にあたる75%の会員が人手不足感を「感じる」と回答。さらに、課題に対する改善策について尋ねたところ、「離職者防止策」(75%)が最多となり、次いで「外国人の雇用」(56.3%)、「DXによる対応策」(50%)という結果となりました。ディスカッションでは外国人の雇用をはじめ、エージェントによる採用、また、スポットでの求人对応などで活発な意見交換が行われ、最新の人材確保策について情報交換が行われました。

挨拶 **「課題を乗り越える貴重な場」**

副会長 平田 弘行 氏



同会小川慶一会長が急遽欠席になったため、平田弘行副会長が挨拶を行いました。平田副会長は様々な課題が噴出する自動車整備業界において、日本全国から集まるMSC 感動夢工場会員の取り組みは情報共有の「貴重な場」と位置づけ、「個社では対応できない課題をともに乗り越えていきましょう」と呼びかけました。

見学 **海上自衛隊鹿屋航空基地史料館**



研究会2日目は、海上自衛隊鹿屋航空基地史料館を見学。零戦(左画像)の機体やエンジンなどを視察しました。

BANZAI GUIDE

営業所へ昇格いたしました

2026年4月1日より 営業力の強化及びサービスの向上を図るために、弊社全出張所及び甲府駐在を営業所に昇格させることとなりました。

■ 営業所昇格となる事業所

函館営業所(旧:函館出張所)

〒041-0812 北海道函館市昭和3-7-24
TEL:0138-41-8433

帯広営業所(旧:帯広出張所)

〒080-0047 北海道帯広市西17条北1-54-13
TEL:0155-35-5111

甲府営業所(旧:甲府駐在)

〒400-0851 山梨県甲府市住吉5-25-14
TEL:055-241-0891

富山営業所(旧:富山出張所)

〒939-8216 富山県富山市黒瀬北町1-11-12
TEL:076-493-2516

松山営業所(旧:松山出張所)

〒790-0054 愛媛県松山市空港通2-14-21
TEL:089-972-3121

山口営業所(旧:山口出張所)

〒747-0054 山口県防府市開出西町2-3
カンパネラ開出西町
TEL:0835-23-2963

岡山営業所(旧:岡山出張所)

〒700-0941 岡山県岡山市北区青江1-2-40
TEL:086-234-1300

山陰営業所(旧:山陰出張所)

〒690-0021 島根県松江市矢田町135-6
TEL:0852-24-0856

長崎営業所(旧:長崎出張所)

〒852-8153 長崎県長崎市花丘町22-12
TEL:095-849-2161

大分営業所(旧:大分出張所)

〒870-0952 大分県大分市下郡北3-14-6 2-1
TEL:097-574-6377

熊本営業所(旧:熊本出張所)

※2025年10月1日付で昇格しております。
〒860-0834 熊本県熊本市南区江越1-6-27
TEL:096-378-2821

編集後記



先日プライベートで7年ぶりにタイのバンコクへ行ってきました。円安が進み久しいですが、前回の時は対ドルで110円以上で1.4倍くらいの為替でした。流石に1.4倍となると、何を買っても何をしても高く感じてしまいました。もっと日本国民ひとりひとりが頑張る必要があるんだなとつくづく感じた旅でした。

夏季に入ったタイはかなり暑く、今年の日本の夏を感じさせる良い予行演習になりました。皆様の工場でも酷暑での作業は大変危険です。当社ではエアコンだけではなく猛暑対策の様々な商品の組み合わせ提案が可能です。工場の暑さ対策にお困りでしたらバンザイに一声おかけください。